

# 琢磨台

No3 H30.7.11 文責：校長

## 1 野球部お疲れ様 そして全校応援頑張った

昨日10日、高校野球の初戦、対黒沢尻工業。全校応援で臨んだ試合だったが、終盤の反撃届かず3対6で惜敗しました。しかし、反撃を諦めない9回裏の粘りの攻撃で、応援団のボルテージは最高潮に。グラウンドの選手に届けとばかりの大声援でした。

野球部、そして応援した全校の皆さん、お疲れ様でした。



黒沢尻工—大東 3回表黒沢尻工2死二塁、古川が右前適時打を放ち、2-0とする=花巻

## 黒沢尻工 着実に加点 大東、終盤の反撃届かず

### 中軸きっちり集中打 黒沢尻工

昨夏の4回戦の再現と見られてきた黒沢尻工が延長10回8-7の激戦を制してベスト8に名乗りを上げたが、この日は四回までに集中打で6点を奪い、試合をもつれさせずに再び大東を退けた。

三回は走者を置いて、中軸の右打者3人が判で押しつぶすようにライトへ鋭く打ち返し、3点を先制。四回は2年生の4番佐々木駿介が、内角直球を振り

佐々木は花巻東の佐々木洋監督のおいに当たるが、あえて同校には進まず、今春から4番に座る。それでも「長打は周りに任せ、自分はつなぐ意識」

石橋智監督は「言葉はひよっとしたら甲子園です」と冗談めかしたが、狙うはノーシードからの快進撃だ。

（細田）

【花巻】  
▽2回戦

黒沢尻工	003	300	000	000	6
大東	001	000	011	3	3

（黒）長山、土屋、菅原—千葉  
（大）千葉慎一滝沢  
▽佐々木駿（黒）  
▽菅原（黒）千葉雄、小島、小野寺真、鳥畑（大）

【評】黒沢尻工は三回、石塚、古川、千葉がいずれも右前へ適時打を放ち3点を先制。四回は佐々木駿の2点三塁打などで3点加えた。3人の継投で大東の反撃を3点に抑え、逃げ切った。大東は10安打を重ね、先発千葉慎は五回以降無失点と意地を見せたが、及ばなかった。

▼もっと早く点取れば大東は終盤に追い上げたが及ばなかった。小山泰伸監督は「あきらめない気持ちは強かったが、もっと早く点を取れば」と悔やんだ。

「大好きな先輩たちが昨夏負けた黒沢尻工との勝負。運命だと思った」。主戦千葉慎（3年）が五回以降無失点を抑え、自慢の打線が奮起した。

九回は3点差に迫り、なおも2死一、二塁の好機。小島流杜主将（3年）は「自分が決める」打席に入ったが、追い付くことはできなかった。チームを引っ張った千葉慎は「先輩を超えられなかった」と目を赤くして振り返った。

ちわがひとときわ目立った=写真。全力で戦う選手の背中を押そうと、大東の父母会が3日間かけて手作りした応援グッズ。炎天下の暑さ対策も兼ねるが、あおげばむしる熱風が起きそうなほど。父母会長の菅原勝宏さん（49）も「3年生は最後の夏。思い切ってプレーして」とひたすらホットだった。



4 5 6 7 8 9



番号を表示=写真。観客も最初は珍現象に戸惑っていた。

「D」のうちわ染まる

①…ともに全校応援となった花巻球場の第2試合、黒沢尻工—大東は計1100人を超える大応援団がスタンドを埋め、青色に染まった一塁側は大東の「D」の文字入りう

### 芝生席

#### 7、8番に「鈴木雄大」

①…県営球場の第3試合に登場した大船渡は、同姓同名の2選手がスタメン出場した。ともに3年生の鈴木雄大（すずき・ゆうだい）で、打順も仲良く7、8番で続いた。

打順が7番の鈴木は背番号14で左翼手、8番の鈴木は背番号5で三塁手。名字が同じ選手の場合、スコアボードでは名前の一文字を付け足すが、それだけでは区別できないため、今回は苦肉の策で背

